5	自	-		が		( )	L	( )	
を	分	2	言	U°	断	表	to	た	昨
思	<i>の</i>	だだ	葉	7	腸	す	0	ぬ	年
$\perp$	-	-				9	7	$\perp$	7
1,	気	2	を	to	0	7	そ	11	
や	持	思	知	1)	思	と	$\mathcal{O}$	ぐ	引
1	ち	1,1	る	だ	1, 1	が	と	る	つ
る	だ	ŧ	C	つ	_	で	き	4	越
人	け	す	۲	to	۲	き	は	を	L
に	で	0	は	2	( )	ŧ	`	捨	を
な	な	た	`	思	j	せ	自	7	L
1)	<	<	気	1,	言	6	分	な	た
た	`	さ	持	ŧ	葉	で	0	<	۲
1,	1,	L	ち	L	を	l	気	7	き
で	ろ	0	0	た	知	た	持	は	10
す	L	亩	あ	0	1)	が	ち	な	`
0	な	葉	1)		`	`	を	1)	大
	人	を	様		( )	そ	う	ŧ	切
	0	知	を		$\mathcal{O}$	0	ŧ	せ	10
	気	1)	知		言	後	<	L	L
	持	`	る		葉	`	言	で	7
200					100				

## 解説

「言葉を知っていることで、自分のことが理解できるようになる」ことの例として、文章中には自分が何を感じているかを正確に言い表すことで自分を理解する例が挙げられています。これを手がかりにして、自分の中のモヤモヤした気持ちにぴったりの言葉があることに気がついた体験をあげるとよいでしょう。